

「行きたい」「行かせたい」学校の創造

札幌市立光陽中学校

I はじめに

よりよい学校とは…

学校教育目標の実現
「行きたい」
「行かせたい」
「誇りのもてる」
学校
信頼される学校

1 本校における学校評価のねらい

◎ よりよい学校を創る

- ① 【自己評価】…成果や課題の共通理解、改善への意思統一
- ② 【学校関係者評価】…より客観的な評価による課題の明確化
- ③ 【開かれた学校】…信頼される学校→新たな改善のためへ
- ④ 【重点化】…評価のための評価ではなく、具体的な改善に向けて

2 昨年度の学校評価を基にした改善点

- ・ 学校教育目標が生徒・保護者に十分周知されていない。
→年度当初の保護者集会で説明。各種便りで必ず触れる。
- ・ 教師と生徒の間に十分な信頼関係が築かれていない。
→教育相談日の適切な確保。全生徒との「ひとこと日記」のやりとり。
- ・ 学校の情報をもっと知りたい。
→学校便りの発行回数を増やす。ホームページを毎日更新する。

II 本校の学校評価システム

自 己 評 価

1 自己評価①…学習指導部（校務）

本校において、学校評価にかかわる業務は学習指導部が中心となって進めている。学校評価の企画・立案から始まり、評価方法、アンケート項目検討、結果分析、改善案の原案作成、公表方法等を担当する。それを部内で検討し、次のステップ（教育課程検討委員会）へと進む。

2 自己評価②…教育課程検討委員会

本校の各校務部学年担当者からなる教育課程検討委員会では、学習指導部から提出された学校評価に関する分析（Check）および改善案（Action）を検討する。数度の検討の上、年度途中（後期に向けて）と年度末職員会議（次年度に向けて）で自己評価書を提案する。

3 学校関係者評価（外部評価）…学校関係者評価委員会

本校においては学校関係者評価委員を3名、2年任期で委嘱している。委員会は年3回開催しており、学校教育目標の説明と中間自己評価書、年度末自己評価書について検討していただいている。検討結果から学校関係者評価書を作成していただき、教職員および校外にも広く公表している。学校は学校関係者評価を真摯に受け止め、学校改善に役立てている。

学 校 関 係 者 評 価

Ⅲ 学校評価の年間の流れ

	自 己 評 価				学校関係者評価
	学校（教職員）	児童生徒	保護者	地域	学校関係者 評価委員会
4	学校経営の方針の決定 取組の重点決定 学校公開（授業を中心に） P T A総会（学校経営方針の説明） 学年P T A集会（学校経営方針の説明）				
5	校務運営要綱作成				
6	中体連壮行会 学校公開日				第1回学校関係者 評価委員会
7		授業評価ア ンケート 学校評価ア ンケート	アンケート	アンケート	学校公開日見学
8					
9	学校祭 学校公開日 中間自己評価書の作成 授業アンケート結果に対する改善策の公表	授業評価ア ンケート結 果配布	アンケート	アンケート	学校公開日見学
10	合唱コンクール 学校公開日		アンケート	アンケート	学校公開日見学 第2回学校関係者 評価委員会
11	生徒総会 学校公開日 中間自己・学校関係者評価書の公表 ホームページでアンケート結果及び中間 自己・学校関係者評価書の公表		アンケート	アンケート	中間学校関係者評 価書の作成 学校公開日見学
12		授業評価ア ンケート 学校評価ア ンケート	アンケート		
1					
2	自己評価書の作成 年度末反省（学校評価を基に） 次年度の重点課題決定				
3	送別集会 学校公開日 自己評価書の公表 学校関係者評価書の公表 ホームページで自己・学校関係者評価書 の公表	授業評価ア ンケート結 果配布	自己評価書 配布 学校関係者 評価書配布	自己評価書 配布 学校関係者 評価書配布	学校公開日見学 第3回学校関係者 評価委員会 学校関係者評価書 作成

IV 学校評価の方法

自己評価

1 自己評価

(1) 項目の設定

- ・ 【学校教育目標】 【基本方針】 【推進の重点】 →学校全体
- ・ 【各校務部】 【各学年】 →担当部門

※学校全体の評価項目と担当部門の評価項目とを設定する。

※項目決定に当たっては第1回学校関係者評価委員会でも検討していただき、最終決定となる。

※中間評価の際には、年度の重点項目に限定する。

(2) 生徒・保護者アンケートの実施（年2回、4択アンケートと自由記述）

- ・ 評価項目は教職員アンケート項目とリンクしている。

(3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

- ・ 結果の集計と分析及び自己評価書の原案は学習指導部担当者が作成し、部内検討後に教育課程検討委員会で検討する。

(4) 改善策の検討

- ・ 学習指導部担当者が分析結果から原案を作成し、部内で検討後に教育課程検討委員会で検討、職員会議で決定し、実践する。
- ・ 自由記述に関しては、関係する部、学年、委員会等で原案を作成して、同様の流れで検討し、決定したことを実践する。

学校関係者評価

2 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員の構成と役割

PTA 役員経験者3名に依頼し、自己評価書を検討していただく。

(2) 学校関係者評価書の作成（中間と年度末の2回）

自己評価書を学校関係者評価委員会で検討。検討結果を学校関係者評価書として作成する。

V 評価結果の公表

1 公表の方法

本校では、評価結果の公表を以下の方法で行っている

- ・ 学校ホームページ
- ・ 学校便り

2 公表の効果

- ・ 学校便りを近隣小学校6年生全家庭に配布することで、小学校教員との連携が強まり、小学生保護者にも学校の取組を少しだけ理解していただくことができた。
- ・ 学校便りに、評価結果に対するご意見・感想を記入し学校ポストに投函できるスペースを作成したことにより、数通の感想・要望をいただくことができた。
- ・ ホームページにアンケート結果及び自己評価書・学校関係者評価書を掲載することで、他の中学校はもとより高校からもアドバイスや感想をいただくことができた。
- ・ 公表するという行為が伴うことで、教職員の取組に真摯さが生まれ、課題の改善に向けて、全力で取り組むようになった。

VI 他地域における学校評価

1 神戸市立本多間中学校の学校評価

(1) 特徴

- ・年度当初に生徒、保護者、職員を対象とした学校教育活動評価アンケートを実施し、重点指導事項を定める。
- ・小中合同研修で生活実態調査結果による生徒理解と教科研究を行う。

(2) 成果

- ・保護者の「職員」に対する肯定的回答率が大幅にアップした。
- ・生徒の「授業」に対する肯定的回答率がアップした。
- ・職員の研究活動に対する意識の向上が見られた。

2 広島県大崎上島町立大崎中学校の学校評価

(1) 特徴

- ・生徒による授業評価だけでは不十分と考え、他教師や保護者による授業参観、授業評価を導入し、多面的な評価を行い、授業改善を図る。

(2) 成果

- ・授業評価を踏まえ、学習の機会を多く設けることにより具体的な学力向上につながった。(テスト期間中の質問教室、長期休業中の学力補充、水曜マイタイム、ふりかえりタイム、漢検チャレンジタイム、放課後ほっとタイムなど)

VII 成果と課題

《成果》

今まで漠然としか認識できていなかった学校運営上の課題が、学校評価を行うことで明確になった。明確になったことにより、教職員が一丸となってその具体的解決に向けて取り組むことができた。

また、学校関係者評価委員会からの学校関係者評価書、さらに学校評価結果の公表によって課題が客観的に浮かび上がり、教職員が謙虚な気持ちで学校改善に取り組むことができた。

《課題》

学校評価に真剣に取り組めば取り組むほど学校の課題が明確となり、課題解決に近づいていけるが、それと比例して教職員や係、学校関係者評価委員会の仕事量が多くなる。本来、学校評価(Check&Action)にかける力より、そこから導き出された改善案を具体的に実践することに力を注がなければならないため、より効果的、効率的な学校評価の在り方を検討していくことが必要である。

【参考文献】

- ・ 「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」 文部科学省
- ・ 「学校評価」 金子郁容著 ちくま新書
- ・ 「『学校評価』で学校を変える」 TOSS 学校づくり研究会著 明治図書
- ・ 「学校評価を活かした学校改善の秘策」 善野八千子著 教育出版

平成19年度 自己評価書

札幌市立光陽中学校

1. 本年度の教育目標

--

2. 本年度の重点項目

--

3. 自己評価結果 (A…「十分である」、B…「おおむね十分である」、C…「不十分である」) (T…教員、S…生徒、P…保護者)

分野・領域	評価項目	T	S	P	達成状況	改善の方策	
学校教育目標	教育目標	教育目標が教職員に理解され、教育活動の指標として生かされている。					
		教育目標が学年・学級経営に位置づけられている。					
		教育目標が保護者や生徒に理解されている					
		教育目標の達成に向けた、具体的な取り組みがなされている。					
		「行きたい」「行かせたい」「誇りのもてる」学校創りに取り組んでいる。					
	教め師さ像	楽しくよくわかる”授業を進めている。					
		優しい温かさの中に毅然とした姿勢で支援している。					
		人間的な”心”のふれ合い”を通して生徒理解に努力している。					
	生徒さ像	よく考えて学んでいる。					
		明るくて素直である。					
		丈夫で強い心である。					
		ねばり強く何事にもやり抜く姿勢がある					
方基本	学校経営の基本方針を教職員が理解して教育活動を行っている。						
	学校経営の基本方針を保護者や生徒が理解している。						
教育推進の重点	学習指導	教育課程の編成は本校の特徴を生かした創意に満ちたものとなっている。					
		教育課程の編成・実施は各領域の調和がとれている。					
		授業時数は適切に確保されている。					
		総合的な学習の時間のねらいを踏まえ、充実した学習活動を行っている。					
		”わかる、できる、楽しい”授業づくりに努めている。					
		基本的な学習習慣を定着させるよう努めている。					
		生徒一人一人の個性を伸ばすための選択教科となっている。					
	評価規準の見直しや評価方法に工夫を凝らしている。						
	生徒指導	人間的な温かいふれ合いを通して生徒理解を深め、心の通い合う生徒指導が行われている。					
		社会生活のルールなどの社会性を確実に身につけさせる指導が行われている。					
		基本的な生活習慣(時間を守るなど)の定着をはかる指導が行われている。					
		全教師の共通理解と協力体制にたつた生徒指導が行われている。					
		あいさつ、環境整備、身だしなみといった品位があり礼儀正しい生徒の育成に努めている。					
		学習の場にふさわしい環境が校舎内外とも整備されている。					
		生徒たちは清掃活動をまじめに行っている。					
		好ましい人間関係の確立や生命の尊さを尊重する心などの道徳教育がなされている。					
		校内学びの支援委員会を中心とした校内支援体制が整っている。					
		スクールカウンセラーと連携し、生徒や保護者が相談できる体制が整っている。					
	生徒たちの理解を深めるような教育相談活動が行われている。						
	全健指導安	生徒たちは健康な生活を送っている。					
生徒たちは食事について正しい理解を深めている。							
生徒たちは部活動に意欲的で、いきいきと参加している。							

平成19年度 学校関係者評価書

札幌市立光陽中学校

	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
開 学 か れ た 校 た	教職員の資質の向上を図る(教科指導、学級経営等)研修が行われている。				
	学校の教育情報が積極的・定期的に発信されている。				
	学校評価システムが適切に運用されている。				
	小学校、高校と連携して、生徒の継続指導を行っている。				
	予算は適切に執行されている。				
外部評価者の意見等					
進 路	一人一人に応じた進路の指導がなされている。				
	進路全般に関する情報がわかりやすく、適切に提供されている。				
外部評価者の意見等					
情 報	コンピュータを中心とした情報教育機器を生徒が効果的に活用している。				
	コンピュータにより校務が効率的に進められている。				
外部評価者の意見等					
研 修	学級を高めていくための学級経営交流がなされている。				
	標準学カテストが効果的に活かされている。				
外部評価者の意見等					
生 徒 活 動	生徒会活動のねらいと重点が明確化され、系統化されている。				
	学級、学年、生徒会の目標を達成するための追求期間が盛り上がっている。				
	質を伴った表現活動が盛んに行われている。				
	生徒は「自治活動宣言」を意識して活動している。				
外部評価者の意見等					
学 年	学年の目標が教職員間で共通理解できている。				
	学年内で協力した運営ができています。				
	保護者の思いや願いを踏まえた指導が行われている。				
外部評価者の意見等					
防 災	防災に関する体制は確立されている。				
	防災訓練は適切に実施されている。				
	地域防災体制へ十分協力している。				
外部評価者の意見等					
PTA	保護者の意見が学校運営に十分反映されている。				
外部評価者の意見等					

※赤字は教員、生徒、保護者の複数アンケート結果から。黒字は教員のアンケート結果から。

OA、B、Cはアンケート結果の「そう思う」「だいたいそう思う」の合計%から算出しました。

A...75%以上、B...50%以上75%未満、C...50%未満

★その他、委員の方からのご意見